

岩永浩美(自民)質問

参議院予算委員会

3月6日、参議院予算委員会で元農水副大臣の岩永浩美議員(自民)が諫早湾干拓に関し質問した。

開門調査が前提条件 鳩山総務相

【岩永】諫早湾の干拓事業について質問をいたします。この件については、去年の六月、司法の判決が出ました。この件については、開門調査を実施すること、それについて三年間の猶予期間を持つて二年間の間に開門調査をすること。当時、私は副大臣の職をいただいております。その折、若林大臣と再三再四にわたつて大変厳しい交渉の中にありました。幸いに若林大臣は、前に環境大臣を経験しておられた関係上、最終的には開門調査をするに当たつて環境アセスを入れることに合意をされました。(略)私は大変感極まりない思いでした。(略)辞表を胸にしたためて交渉したことを私は本当に感慨深く覚えております。(略)総務大臣に是非ここで、所管外ではありませんが、あのときの思い、環境アセスする、それは開門調査をするという

前提で環境アセスの話だったことを大臣も覚えておられると思います。あのときの前提は開門調査をするということですが、大臣の見解をまずお聞きしておきたいと思ひます。

一日も早く開門(鳩山)

【鳩山総相】全くおつしやるとおりで、開門調査をするんだ、できるだけ早くするんだ、そのためにアセスやるというふうに当時の若林農水大臣も理解をいただいたと、私は岩永先生同様にそう解釈をしているわけですが、何かアセスするだけで三年も、何か物すごい時間掛ものですか、これは石破農水大臣にもお願いをして、できる限り開門のためのアセスをして、そしてもうできるだけ早く開門調査をしてもらいたい、こう思っております。(略)私は、農水省が全く、何というんでしょうか、固い態度であるならば控訴しないと。控訴しなければその判決が確定して、三年たつたら五年間門を、水門を開けるわけですから、これはすばらしいことになるなど、正直そう思つたわけでございまして。(略)、一日も早く開門調査できるように私は農水大臣にお願いをしていきたいと思ひます。

全然答弁になってない

岩永議員が、農林水産省農村振興局齋藤晴美次長に、開門調査のためのアセスのスケジュール、作業の進捗、スケジュールについて質問をしたところ、齋藤次長は、検討している開門方法について「これまで佐賀地裁判決で示されました開門当初から排水門を全開とする開門方法、それから長崎開門訴訟で原告弁護団から示された調整池への海水導入量及び調整池からの排水量を段階的に増加させ最終的には排水門を全開とする開門方法、それから平成十四年に実施いたしました短期開門調査と同様、背後地の防災や構造物の安全等への影響を考慮し、調整池の水位や排水門付近の流速に制限を設ける開門方法など(略)を参考にしながら複数の方法を検討して」いることを明らかにした。

さらに、岩永議員がアセスについて「開門調査を前提にしているということではないんですね」と質問したのに対し、齋藤次長が問いに対する答えにならない言葉で回答はぐらかそうとしたのに対し、「今のは答弁になりません」と厳しく問い質した。それでもなお回答はぐらかそうとした齋藤次長に対し、岩永議員は、「全然あなた答弁になっていないね、それは説明に何もならないよ。」とさらに厳しく叱責している。

方向転換する勇気を

【石破農相】開門調査を含めた今後の方策について関係者の御同意をいただいてまいりたい。(略)アセスの結果を踏まえながら御同意をいただくことが必要(略)。

【岩永】(略)入植をされた皆さん方に営農を阻害するようなことはしてはなりません。そのためには農業用水も確保しなければいけない。環境アセスをしていく過程の中で農業用水等々の確保をしない限り、開門調査できないんですよ。そういう具体的なことの方策を何もしてなくて、結果が出てからやるということだけではやらないということにつながっていく(略)。具体的な方策をやつぱりプログラムとして示さない限り、沿岸漁民の皆さん方の御理解はいただけない。(略)環境アセスをやつぱりやるということは、どういふことがあつても開門調査をするという前提に立つた作業を並行して進めていかない限り納得しませんよ。(略)今までやってきたその一つの事業を、あるときには否定してでも方向を転換しなければいけないんですよ。(略)想定外のことが起きたことに対する対処は行政としての責任として果たさなければいけないんじゃないんですか。私はそのことを指摘しているんです。だからこそ、辞表をしたためて私は大臣と折衝をしたんです。それに対して、半年以上たつてもなお遅々として進まない(略)。

行政の連続性の中にも誤りが指摘されたら、方向転換することは勇気のある決断なんですよ。そういうことがあつても決して私は悪いことではないと思ひますよ。国民が納得し、地域住民が納得する勇気ある決断を是非お願いをして、私の質問を終わります。(岩永議員の3月27日質問は57号に掲載します)